

新春特集1

# 敦賀から販路拡大、観光

地域活性化のキーワード

## 新高速交通ネット

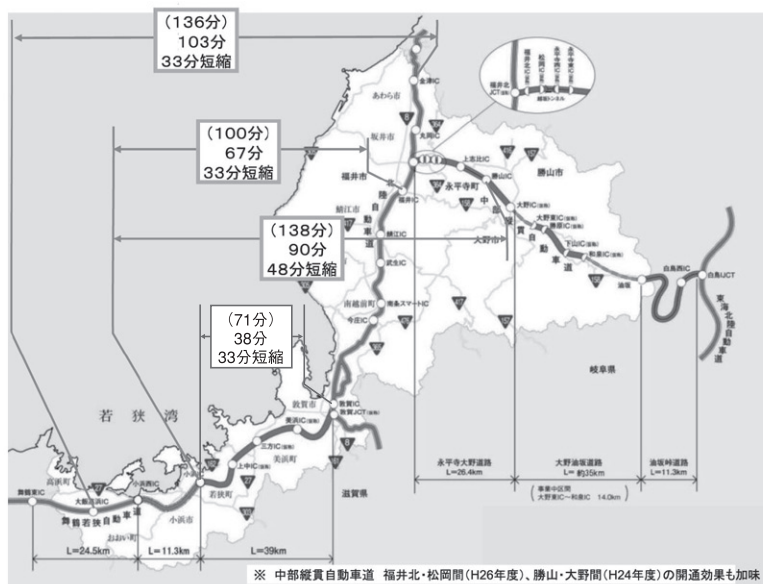


■イメージ図

### 博物館通り 賑わい創出プロジェクト

相生町の博物館通りは、かつて市内随一の商店街として栄えた、市立博物館や昔ながらの街並みなど、敦賀の歴史資源の集積地です。町家改修をし、本年10月のオープンを予定しております。広域の集客で、商業の再生を促し、賑わいを創出します。現在、3店舗の出店を計画。

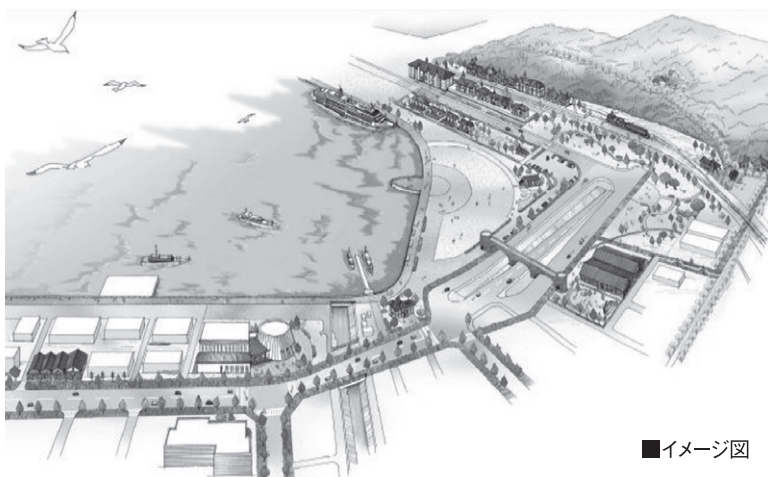
### 舞鶴若狭自動車道



※小浜・大野間が48分短縮され、県内全域の主要都市間の所要時間が概ね100分以内になります。

舞鶴若狭自動車道は、中国自動車道・吉川JCTから、新たに整備される北陸自動車道・敦賀JCTまで続く、延長約162kmの高速自動車国道です。平成23年7月には小浜ICまで延伸し、現在、残る小浜ICから敦賀JCTまでの約39kmの整備が進められており、平成26年度には全線が開通する予定です。これにより小浜—敦賀間に約30分の時間短縮効果があります。

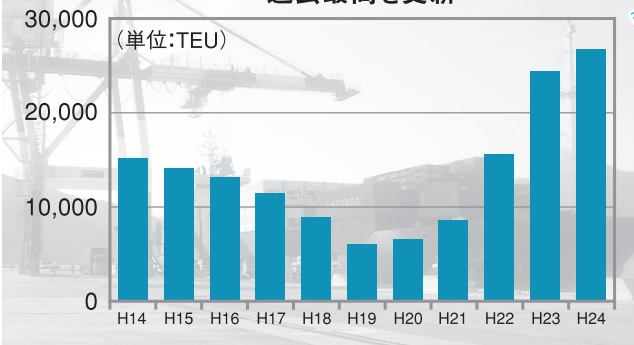
### 金ヶ崎周辺整備構想 「敦賀ノスタルジアム」



■イメージ図

東洋の波止場として栄えた港、郷土への愛着、異国情緒を味わうことのできるノスタルジックな空間と、赤レンガ倉庫やランプ小屋といった歴史的施設を有した金ヶ崎全体を博物館に見立てたミュージアム空間の融合を目指します。

平成24年度の外貿コンテナ貨物取扱量が過去最高を更新



定期国際航路は現在、韓国・釜山港をつなぐコンテナ船、RO-RO船と中国航路船が復活し合わせて5便となりました。今年9月末までのコンテナ貨物取扱量は、2万599TEU (1TEUは20フィートコンテナ1個分) となり、年間取扱量の過去最高を更新しました。

### 敦賀港